

山口のりひさの

県会議員



活動便り



県議会一般質問（6月28日）

希望もてる身近な県政に全力

みなさんのご支援で県議会に送っていただき、2期目の活動がスタートしました。

6月定例県議会（6月20日～7月5日）では、一般質問で県立高校の入試制度の見直し（裏面参照）、公文書管理、リニア関連工事の問題などを取り上げました。

今年度から所属した農政・林務委員会では、農業の後継者対策や収入保険制度の問題点、新しい森林管理制度、「自伐型」林業の普及など質問しました。

みなさんの要望の実現、県政のチェック機能の発揮のためがんばります。



公文書管理の先進例とされる神奈川県立公文書館を視察（6月4日）

厳正な公文書管理を

第三者の専門職の管理、保存期間満了文書の扱いについていただきました。職員が専門性を身に付けること、廃棄・移管はダブルチェックを検討すると答弁がありました。



中川村の盛り土予定地（6月17日）。複数の断層などを指摘し危険な盛り土の見直しを求めました。

リニア関連工事で追及

リニア関連工事の残土を利用した大規模盛り土計画で、県や地元の中川村も承認していないのにJR東海が勝手に事業を進めた問題を追及。県の対応をいただきました。



種モミを生産している圃場（長野市信更・6月19日）

安定的な種子生産・供給体制のために

種子条例制定（裏面参照）とともに、基盤整備や後継者づくりなど種子生産体制の充実を求めました。



農政林務委員会（7月2日）

補聴器に国の補助制度を——意見書採択

高額な上に健康保険が適用されず、補助制度を求める切実な要望が上がっています。日本共産党県議団が他会派に呼びかけ共同提案しました。



（左から）和田あき子、山口のりひさ、もうり栄子、両角友成、高村京子の各氏（5月14日）

県民要求実現へ全力でがんばります

改選後の県議団が5人でスタートしました。

交渉会派でなくなったことや代表質問ができなくなったことは残念ですが、道理ある積極的な提案をさせていただきながら、フットワーク軽く地方議員団の皆さんとも協力し合い、県下各地に足を運び、県民要求実現のために、力いっぱい頑張っています。

この間、臨時議会、6月議会がありましたが、意見書など私どもが提案させていただいたことが、全体の合意となったこともあり一歩一歩進んでいることは嬉しいことです。一層頑張っていますのでよろしくお願い致します。

県議団長 もうり栄子

新しい所属委員会は以下の通りです。1年間この体制で奮闘してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

もうり栄子議員…総務企画警察委員

高村京子議員…県民文化健康福祉委員・障がい者施策推進協議会委員

和田あき子議員…環境文教委員

両角友成議員…危機管理建設委員・議会運営委員・広報委員

山口のりひさ議員…農政林務委員・決算特別委員

日本共産党県議会報告

No. 1 2019年8月 【2019年6月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行／日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室
TEL 026-237-6266（直通） FAX 026-237-6322
E-mail jcpnngkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

